

Patent application H8-156962 [1996] (unexamined patent H10-3169 [1998]) (applicant: Toshiba Corp.)

In the specification attached to the beginning of the above patent application (hereinafter "the specification of the previous application") are listed matters asserted by the patent opponent Toshiba Corp. (hereinafter "the opponent") in its notice of patent opposition (hereinafter "the notice"), page 6 line 9 through page 8 line 18.

When the invention described in the specification of the previous application is compared with the invention in claims 1, 3, 5, 7, 8, 9, 10 of the present application, it is found that, as asserted by the opponent in page 8 line 19 through page 13 line 17 of the notice, what is described is something having the same composition as the invention in claims 1, 3, 5, 7, 8, 9, 10 of the present case, and thus the invention in claims 1, 3, 5, 7, 8, 9, 10 of the present patent is the same as the invention described in the specification of the previous application.

発送日 12年7月18日

取消理由通知書

10-38207

特許異議申立の番号	異議2000-71910
(特許の番号)	(特許第2973998号)
起案日	平成12年7月5日
審判長 特許庁審判官	森 正幸
特許権者	日本電気株式会社 様

本件の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る特許は、合議の結果、以下の理由によって取り消すべきものと認められます。これについて意見がありましたら、この通知の発送の日から60日以内に意見書の正本1通及びその副本2通を提出して下さい。

理 由

本件出願の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る発明は、本願の出願日前の下記の特許出願であって当該特許出願後に出願公開がされたものの願書に最初に添付した明細書に記載された発明と同一と認められ、その発明をした者が当該特許出願に係る発明者と同一の者とも認められないので、特許法第29条の2の規定により特許を受けることができない。

記

1. 特願平8-156962号(特開平10-3169号公報参照)〔出願人：株式会社東芝〕

上記特許出願の願書に最初に添付した明細書(以下「先願明細書」という。)には、特許異議申立人株式会社東芝(以下「申立人」という。)が同人提示の特許異議申立書(以下「申立書」という。)6頁9行~8頁18行で主張しているとおりの事項が記載されている。

本件出願の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る発明と先願明細書に記載の発明とを比較すると、申立人が申立書の8頁19行~13頁17行で主張しているとおり、先願明細書には、本件の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る発明と同一の構成のものが記載されていると認められるので、本件特許の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る発明は、先願明細書に記載の発明と同一である。

したがって、本件の請求項1, 3, 5, 7, 8, 9, 10に係る特許は、取り消すべきものである。

この通知に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

審判部第7部門 審判官 矢沢 清純

電話03(3581)1101 内線3707

ファクシミリ03(3580)8017